

総務部 フレックスタイム制を導入

本年4月から、国家公務員の「フレックスタイム制」がすべての一般職員に導入されました。これにより、7:00~22:00のフレキシブルタイムの中で10:00~16:00のコアタイムを含み、公務の運営に支障がなければ最低勤務時間6時間以上で自由に勤務時間を設定することが可能となりました。

適切な公務運営を確保しつつ、より柔軟な勤務形態の下で、より一層の職員の能力発揮や公務貢献が期待されます。

沖縄総合事務局ではフレックスタイムを取得して

いる職員は現時点で約6%とまだわずかですが、子育て中の職員や自己啓発に活用している職員などは、「状況に合わせて柔軟に働くことで仕事の効率もアップした」などと好評で、制度の定着とともに多くの職員が活用すると思われます。

また、昨年から夏の生活スタイル変革として実施されている「ゆう活」も7月から開始され、朝型勤務やフレックスタイム制などの活用により退庁時間を早め、一日の時間を有効に使うことでワークライフバランスの実現を目指します。



財務部 高齢者に対する 特殊詐欺被害防止の出前講座

財務部金融監督課では、利用者保護の観点から、様々な職場・団体などからの要望に応じて、金融行政に関する広報活動を行っておりますが、近年、振り込み詐欺、投資詐欺など高齢者を狙った特殊詐欺が発生していることを踏まえ、これらの金融犯罪の被害の防止を図るため、高齢者に対する出前講座を積極的に実施しています。

同講座として、4月21日、高齢者の方を対象としたカルチャースクールに職員を派遣し、特殊詐欺被害防止の講話を行いました。具体的には、高齢者を狙う特殊詐欺の事例を紹介し、また、実際に起こった特

殊詐欺の事例について受講者を交えて実演を行い、特殊詐欺の被害に遭わないためには、「すぐに振り込まない、不安を煽る電話を受けたら家族に相談する、怪しいと思ったら警察に連絡する」ことの大切さなどを説明しました。

受講者からは、「一人で悩まずに相談すること」、「うまい話は裏があることに注意する」などの意見が寄せられました。

財務部金融監督課では、今後も講師派遣に積極的に取り組み、金融広報と地域連携に努めてまいります。

出前講座の様子



財務部 金融行政に係る 関係機関との連携

5月25日、沖縄総合事務局において、「貸金業監督者会議」、「貸金業関係幹事会」及び「無登録ファンド等連絡会」の3つの会議を開催しました。

これらの会議は、貸金業を利用する資金需要者などの利益の保護や投資者保護の観点から、貸金業者及び無登録ファンド業者に係る関係機関と緊密な連携を図ることを目的としております。3つの会議は、沖縄県、沖縄県警察本部及び当局で構成されておりますが、「貸金業関係幹事会」においては、オブザーバーとして、日本貸金業協会沖縄県支部が参加しました。

今回の会議において、当局からは、最近のヤミ金融の動向や事例、無登録ファンド業者に対する規制などについて説明し、県及び県警から、県内の相談状況や検挙事例などについて、協会から、協会の活動状況などについて説明がありました。また、関係機関及び当局は、それぞれ保有する情報を共有するとともに、今後の対応について意見交換を行いました。

財務部金融監督課では、今後も、金融行政に係る関係機関と連携を密にしながら、貸金業を利用する資金需要者などの利益の保護や投資者保護に努めてまいります。

会議の様子



財務部

大学生に対する 金融・経済講座

5月26日、財務部では、琉球大学法文学部の学生を対象とした「金融・経済講座」を開催しました。

この講座は、県内における金融機関の融資動向やその特徴について学びたいとの同大学からの要望を受けて開催したもので、「沖縄の経済情勢について」と題して、財務課経済調査室長から管内の経済動向や沖縄の観光動向、雇用情勢について説明するとともに、我が国の財政状況についても説明しました。また、引き続き、「沖縄における地域金融の現状と課題について」と題して、金融監督課長から県内の金融情

勢や金融機関の経営上の課題、当部の取組などについて説明しました。

受講した学生からは、中小企業金融円滑化法終了後の県内の融資動向、金融機関の収益性や企業に対する目利き力などについての質問があるなど活発な質疑応答が行われ、沖縄の経済及び金融の現状について学ぶことができたとの感想が寄せられました。



金融・経済講座の様子

財務部

「真喜屋運動広場整備」に係る 国有地の売買契約調印式

5月27日、名護市字真喜屋の国有地(旧海浜地)を真喜屋運動広場の整備事業用地として名護市に売買するため、当局財務部総務調整官と名護市教育委員会教育長が売買契約書に調印しました。

市が取得した国有地は、沖縄本島から奥武島、屋我地島に架かる羽地奥武橋の橋脚付近に位置し、真喜屋運動広場に隣接する旧海浜地で数量は約7,100㎡で5,650万円による売買となりました。

真喜屋運動広場は、昭和54年度に整備され地域スポーツの活動拠点として利用されてきましたが、野球グラウンドと陸上トラックの重複や駐車場が狭く、

永年に亘り利用者から拡張整備の要望がありました。

利用者の要望を受けた市は、平成24年度から運動広場の拡張整備に取り組み、国有地取得に向け当局との協議を重ね、本年1月に開催された第33回国有財産沖縄地方審議会の答申を経て今回の売買契約調印に至りました。

市は、今回取得した国有地も併せた真喜屋運動広場の拡張整備を行うことで、利用者の利便性が向上し多種多様なスポーツイベントの開催や観光資源としての活用が図られることから、地域住民の健康づくりと地域活性化に貢献できるものと期待しています。

真喜屋運動広場整備に係る国有地の売買契約式



調印式の様子

農林 水産部

沖縄周辺海域における 外国漁船の集中取締りの実施

沖縄総合事務局では、沖縄周辺海域における水産資源の適切な保存・管理と漁業秩序の維持のため、外国漁船の指導・取締りを行っています。特に、クロマグロの盛漁期である4月から7月までは台湾漁船の操業が多くなるため、この期間を対象に、平成15年から毎年、集中取締りを実施しています。

また、平成25年に「日台民間漁業取決め」が署名されたことに伴い、平成26年4月には、新たに「水産庁・沖縄総合事務局外国漁船合同対策本部」を設置し、集中取締り期間中は漁業取締船を増隻して、取締体制の強化を図っているところです。

なお、昨年の集中取締りでは、我が国の排他的経済水域内で無許可操業を行っていた台湾漁船2隻を拿捕しています。

今後も、沖縄周辺海域の水産資源を守り、漁業者の方々が安心して操業できるよう、外国漁船に対する取締りを実施していきます。



水産庁漁業取締船



沖縄近海で操業中の台湾漁船

農林 水産部

なごアグリパーク 第2期オープン



～「健康」・「美容」・「長寿」を届けます～

関係者によるテープカット（中央：稲嶺名護市長、右から2人目：三浦総括参事官）



4月27日、「なごアグリパーク」の第2期オープニングセレモニーが行われました。

この施設は、農業の活性化を図るため、農業の6次産業化と観光を融合させるもので、名護市が沖縄振興特別推進交付金を活用して整備し、一般財団法人沖縄美ら島財団に管理を委託するものです。

既に、平成27年4月18日の第1期オープンで「しまちゅらら(ショップ)」、「加工支援施設」が運営されており、今回はレストラン「美ら島キッチン」と観光農園「スーパーファーム」の完成披露を行いました。

関係者が多数列席する中、島尻沖縄・北方担当大臣(代読：三浦総括参事官)から、「これらの施設が名護市や北部地域の農業や6次産業の発展に、より一層寄与することを願っております。」との祝辞がありました。

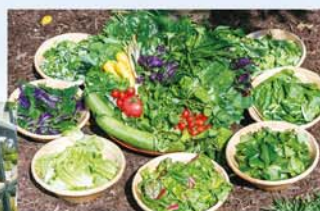
「美ら島キッチン」では、健康・美容・長寿をテーマに地元農家が生産した食材を中心とした料理が提供されており、バイキング形式で様々な島野菜のしゃぶ

しゃぶを楽しむことができます。また、「スーパーファーム」では、島野菜やハーブなどの苗、観葉植物、園芸資材などの販売や農業に関連した様々な体験教室が開かれています。

同パークの開設により、市民や観光客が農業に親しむとともに、地域活性化に資することが期待されています。



「スーパーファーム」の販売用植物



「美ら島キッチン」で提供する島野菜のバイキング

【なごアグリパークHP】
<http://nagoagri.okinawa/>

農林 水産部

さとうきび優良農家を表彰

遠藤農林水産部長から農林水産大臣賞を授与される上里氏



4月21日、沖縄産業支援センターにおいて、「第40回沖縄県さとうきび競作会表彰式」が開催されました。

本競作会は、さとうきび作の生産技術、経営改善において創意工夫し、高単収・高品質な生産の実績を上げたさとうきび農家を表彰することで、県内各地のさとうきび農家の生産意欲を喚起し、糖業の発展につなげていくことを目的に毎年開催されています。

県内各地から選ばれた農家の中から、審査の結果、宮古地区代表の上里豊一氏が沖縄県第1位となり、農林水産大臣賞の栄誉に輝きました。上里氏は、たい肥などの有機物を積極的に投入したり、整備されたかんがい施設を利用して十分にかん水作業を行うなど、きめ細かな栽培管理により、春植としては記録的な10アール当たり16,300kgの高単収を実現しました。

今回受賞されました皆さまには、今後とも優れた生産者として、また、地域のリーダーとして御活躍いただくことを期待しています。

一受賞者一

- 第一位 農林水産大臣賞
上里豊一氏（宮古地区代表）
- 第二位 農林水産省政策統括官賞
小波津祐光氏（中部地区代表）
- 第三位 沖縄県知事賞
国吉政弘氏（南部地区代表）

運輸部

平成28年度陸運及び 観光関係沖縄総合事務局長 表彰式

5月16日、沖縄都ホテル虹雲の間において、関係者多数の出席の下、平成28年度陸運及び観光関係沖縄総合事務局長表彰式が行われました。

本表彰は、県内において自動車運送事業、自動車貸渡事業、自動車整備事業及び自動車販売事業の陸運関係事業並びに観光関係事業に従事する役員、職員で当該事業に対する功績が顕著であった方、また、永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀な方に対し毎年表彰を行うものです。

今年度の受賞者は、団体役員2名、事業役員4名、事業職員12名(従業員2名、運転者5名、整備士等5名)の計18名が久保田局長から受賞者1人1人に対し、功績に対する表彰状が授与されました。



表彰式の様子



受賞者との記念撮影

運輸部

平成28年度 陸運関係功労者 陸運事務所長表彰式

6月15日、「平成28年度陸運関係功労者表彰式」が沖縄総合事務局陸運事務所において行われました。

本表彰式は、県内において自動車関係事業(バス事業、タクシー事業、トラック事業、販売事業、整備事業など)に従事する役員、職員で当該事業の発展に寄与するなど、顕著な功績があった方、また、永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀で他の模範となる方に対して毎年行われております。

今回の表彰は、事業役員9名、従業員5名、自動車

運転手5名、自動車整備士1名、運行管理者3名の計23名の方々と、古堅所長から受賞者1人1人に対して、永年の功績に対する表彰状が授与されました。

表彰式では、陸運事務所長の受賞者への激励の挨拶、表彰状の授与のあと、受賞者を代表して大成通運(株)代表取締役の新城英一氏が「諸先輩をはじめ関係者の皆様の励ましと御指導、御鞭撻に心から感謝し、今後も尚一層、業務に精進しつつ、次代を担う後輩の育成にも全力で取り組んで行きます。」と謝辞を述べられました。



受賞者の皆様方

平成28年度陸運関係功労者表彰式



表彰状授与